

文藝と思想

第五號

悲劇作家としてのゴールズワージー……………	中島源治(一)
ギヤスケル夫人の小説……………	石本キミ(二五)
ゲーテ及びシラーのカント観についての一考察……………	小林保太郎(二六)
あめりか通信……………	森岡 栄(三六)
助言教官の面接技術に関する一考察……………	町田恭三(四三)
平家物語序説……………	井手恒雄(五三)
—文芸論における封建的傾向について—	
高橋氏文考……………	倉野憲司(五九)
彙報—本年度講義題目その他……………	(八〇)